

2017年5月14日(日) 町内清掃に参加しました

西海協研修センターの裏には小さな川が流れており、川土手は近隣のみなさんの散歩コースとなっています。この度、町内会長より声をかけていただき、初めて実習生が川土手の清掃に参加しました。研修センターで講習中の50名に案内したところ、全員から行きたいと言われましたが、初回につき5名を選んで参加しました。(ベトナム男性3名・タイ女性2名)



開始時間は朝8時でしたが、実習生が自主的に早く集合していたため、7時半から一足早く開始しました。



時間を追うごとに徐々に人が増えてきました。

さわやかに朝の挨拶をしてくれる地域のみなさんからは、「参加してくれてありがとう」、「今日来てくれるって聞いてたけど本当に来てくれたのね」、「早く始めてくれてありがとう」などの温かい言葉をかけていただきました。



地域の方々によるとこの日の清掃は実習生5名の活躍もあり、早く完了できたそうです。清掃も一段落してくると、みなさんは次々に実習生と談笑を始めました。



実習生たちは率先して地域の方々が運ぶ土嚢袋を運んでくれました。

終了後には、町内会長のご配慮により、町内のみなさんの前で実習生が挨拶させていただき、温かい拍手が送られました。



今回参加してくれた5名です。



「日本はきれいです」、「道にゴミがありません」

来日した実習生からよく聞く言葉です。しかし、彼らはどうしてきれいなのかを知りません。

海外では行政から委託された清掃業者が清掃したり、自分の家の周囲だけを清掃したりするケースが多く、日本のように地域住人が一斉に清掃活動を実施することは珍しいようです。

研修センター付近では、地域の方々が自主的に住みやすい地域づくりに取り組まれています。

安全パトロールや町内清掃、騒音対応など。

日本では、外国人住人が引き起こすトラブルをよく耳にしますが、こうした地域づくりに対する不理解や地域に対する感謝の気持ちの欠如が一つの要因であるように思います。

きれいで安全な環境を提供してくださる地域の方々に感謝し、他人任せにするのではなく自らも地域づくりに参加することによって、はじめて地域へ溶け込むことができるのではないのでしょうか。

短い講習期間の中で、価値観の異なる実習生にそれを教えることは容易なことではありませんが、研修センターでは今後もこうした地域活動を通じて、一人でも多くの実習生に「地域づくり」について考える機会を提供していきたいと考えています。

《追記》

今回の町内清掃に参加できなかった実習生たちに関して。

時を同じくしてベトナム実習生とインドネシア実習生が自主的に寮周りの草抜きをしてくれていました。

研修センターはこれからも自主性を育む教育に取り組んで参ります。